

# データのセキュリティを確保し、クリーンで信頼性の高い復旧を実現する方法4選

サイバー攻撃、ハードウェア障害、自然災害など、データは無数の脅威に晒されています。堅牢かつ多層的なバックアップ戦略は、データを守り、事業継続性を確保するとともに、データ損失のリスクを抑え、セキュリティ体制全体を強化します。

ここでは、データが常にクリーンで復旧可能な状態であることを保証するための、4つのセキュリティ対策をご紹介します。

## 1. アクセス制御と認証の導入

- 権限のあるユーザーだけがデータにアクセスできるようにします。内外どちらの脅威からも守るためには、追加のセキュリティレイヤーを設けることが欠かせません。既存のアイデンティティ/アクセス管理ポリシーを維持しつつ、あらゆる領域で多要素認証 (MFA) を有効化することは、こうした脅威に対する効果的な保護策となります。
- ユーザーの役割に応じてアクセスとパーミッションを制限します。バックアップ環境で、特定の役割に応じて制限されたきめ細やかなアクセスとパーミッションを付与するため、ロールベースのアクセス制御 (RBAC) を適用します。これにより、それぞれが自分の業務遂行に必要な最小限のアクセス権限のみを保持することが保証されます。

## 2. データの保護と完全性の優先

- イミュータブルなデータ保管庫を導入します。データの改ざんを防ぐため、オンプレミスやクラウド環境で利用可能な、セキュアで改ざんされにくいイミュータブルストレージである、Cohesity NetBackup Flex Appliance または Cohesity FortKnox の利用を検討します。
- 重要なワークロードには3-2-1バックアップ戦略を導入します。異なる2つのメディアに3つのデータコピーを


保持し、少なくとも1つのコピーを改ざんや消去が不可能なオフサイトのストレージに保管することで、データの冗長性を確保し、データが常に復旧可能な状態であるようにします。

- 強力な暗号化でデータ窃取を阻止します。転送時や保存時の不正アクセスからデータを守ります。不正アクセスやデータ窃取を防ぐため、保存先がオンプレミスかクラウドかに関わらず、すべてのデータに強力な暗号化を適用します。

### 3-2-1バックアップ戦略

3  本番データに加え、バックアップコピーを2つ保持します。

2  バックアップコピーを異なるメディアに保存します。一方には必ずイミュータブルストレージを使用します。

1  コピーを1つオフサイトに保管し、エアギャップを用いてメインネットワークから隔離することで、データ保管庫を構築します。

## 3. セキュリティのモニタリングと検知を活用

- ユーザーの脅威をインテリジェントに検知する自動化を活用します。Cohesityの適応型リスクエンジンは、ユーザーの挙動を常に監視して不審な動きを検知します。ユーザーの異常な行動や不審な動きを検知すると、バックアップデータへのアクセスを制限するため、プラットフォームが自律的に多要素認証などのセキュリティ対策を開始します。

- 脅威の特定と対応を加速させます。Cohesityは、侵害指標を積極的に検索して脅威に対応する、高速な脅威ハンティング機能を提供しています。また、環境全体における影響範囲の完全な分析を提供しています。これは、従来のマルウェアスキャンより93%高速です。

## ↓ 4. システム構成の強化

- **Digital Jump Bag™を作成します。** Digital Jump Bag™とは、リモートでのデータ取得や分析に必要なツールに迅速にアクセスできるようにする、保護された信頼できるリポジトリのことです。これには、インシデント対応に必要なツール、ソフトウェア、構成ファイル、ドキュメントが含まれており、攻撃者の手が届かない、安全に保護されたイミュータブルストアに保管されます。
- **ネットワークエクスポージャーを削減します。** バックアップシステムとデータのネットワークアクセスを厳格化し、不正アクセスから保護するため、ネットワークアクセス制御 (NAC) を導入します。ネットワークを簡単にセグメント化してクリーンルーム環境を構築することで、セキュリティを強化し、潜在的なセキュリティ侵害の影響を最小限に抑えます。

- **クリーンルームでのデータの復旧を実現します。** 感染リスクを最小化するため、フォレンジック調査と復旧対応を行うための、セキュアな個別環境を構築します。
- **すべてのシステムとソフトウェアを最新の状態に保ちます。** 新機能や強化されたセキュリティ対策を活用するため、ソフトウェアアップデートとセキュリティパッチの適用を定期的に行います。

こうしたガイドラインをチームと共有し、組織のデータ保護とセキュリティ体制の強化に向けた重要な手順を実施するよう促します。

**組織のバックアップ環境を構築するための指針やベストプラクティスについては、最新のデータセキュリティとデータ管理に関するトポロジー: ITリーダー向けガイドをご覧ください。**

© 2025 Cohesity, Inc. All rights reserved.

Cohesity、Cohesityのロゴ、SnapTree、SpanFS、DataPlatform、DataProtect、Helios、およびその他のCohesityのマークは、米国および/または海外におけるCohesity, Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、関連する各企業の商標である可能性があります。本資料は、(a) Cohesityと弊社の事業および製品に関する情報を提供することを目的としています。(b) 本資料が作成された時点では、真実かつ正確であると考えられていますが、予告なく変更されることがあります。(c) 本資料は、「現状有姿」で提供されます。Cohesityは、いかなる種類の明示的または黙示的な条件、表明、保証も放棄します。

**COHESITY**

[cohesity.com](https://cohesity.com)

1-855-926-4374

2625 Augustine Drive, Santa Clara, CA 95054

9100085-001-JP 6-2025